

## (1) 水需要予測

	平成17年度 (決算)	平成18年度 (決算見込み)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総配水量(千m <sup>3</sup> )	111,467	112,080	111,920	111,464	111,057
総有収水量(千m <sup>3</sup> )	104,516	104,180	104,086	103,805	103,524
有収率(%)	93.7	92.9	93.0	93.1	93.2

○水需要予測の積算

有収水量については、直近データを基準に統計的に予測しました。

## (2) 収益的収支

(単位：百万円 消費税抜き)

		平成17年度 (決算)	平成18年度 (決算見込み)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
収入	給水収益	14,705	14,738	14,675	14,692	14,659
	負担金	547	601	617	621	626
	加入金	335	308	321	310	310
	手数料等	84	981	247	173	121
	計(A)	15,671	16,628	15,860	15,796	15,716
支出	人件費	3,300	3,368	3,229	3,114	2,872
	受水費	474	469	470	499	499
	修繕費	1,428	1,787	1,734	1,729	1,724
	委託料	1,008	1,172	1,400	1,591	1,522
	減価償却費等	5,215	5,499	5,482	5,455	5,422
	企業債利息	2,072	2,053	1,948	1,866	1,792
	物件費等	1,385	1,880	1,519	1,635	1,708
	計(B)	14,882	16,228	15,782	15,889	15,539
収支	純損益(A-B)	789	400	78	△93	177

### ①収益的収支の積算

- ア 給水収益 20年度以降の有収水量については、0.37%/年の減少を見込んでいます。
- イ 負担金 徴収事務受託金等を負担基準等に従い算定しています。
- ウ 加入金 新規の水道加入者数等を過去実績から推計し、積算したものです。
- エ 手数料等 上記の収入以外の項目を積算したものです。
- Ⅰ 人件費 職員給与費については、集中改革プランで示した人員削減を完全に実施した場合における職員数を基準に算定しています。
- Ⅱ 受水費 用水供給事業及び隣接する市からの受水量を基準に算定しています。  
なお、20年度以降は長戸呂浄水場の廃止に伴い受水量が増加します。
- Ⅲ 修繕費 主に浄配水施設や給配水管の維持補修費を積算したものです。
- Ⅳ 委託料 施設の管理運営委託費、電算システム関連委託費等を積算したものです。
- Ⅴ 減価償却費等 この計画期間における新規取得資産に係る償却費も含めて算定しています。
- Ⅵ 企業債利息 20年度以降の新規債については、年利3.0%で算定しています。
- Ⅶ 物件費等 その他の事務管理経費等は、項目単位での積み上げにより算定しています。

## (3) 資本的収支

(単位：百万円 消費税抜き)

		平成17年度 (決算)	平成18年度 (決算見込み)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
収入	企業債	2,029	1,704	1,844	2,066	1,843
	国庫補助金	101	64	67	16	0
	工事負担金等	987	1,934	1,907	1,779	1,663
	計(C)	3,117	3,702	3,818	3,861	3,506
支出	企業債償還金	2,843	2,976	2,757	2,824	3,015
	建設改良費	5,762	5,946	7,281	7,715	7,699
	水道メーター購入費等	155	239	246	231	249
	計(D)	8,760	9,161	10,284	10,770	10,963
収支	資本的収支過不足額 (C-D)=E	△5,643	△5,459	△6,466	△6,909	△7,457

### ①資本的収支の積算

- ア 企業債 起債残高を圧縮し、後年度負担を軽減するため、対象事業の起債充当率を80%以下に制限しています。
- イ 国庫補助金 20年度まで、石綿セメント管更新事業費補助金を予定しています。
- ウ 工事負担金等 他事業体の依頼による配水管移設工事費負担金を積算したものです。
- Ⅰ 企業債償還金 企業債償還見通しに基づき算定しています。
- Ⅱ 建設改良費 施設整備計画に基づき算定しています。
- Ⅲ 水道メーター購入費等 購入計画に基づき積算しています。

## (4) 財源の状況

(単位：百万円 消費税抜き)

	平成17年度 (決算)	平成18年度 (決算見込み)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
資本的収支過不足額に対する 当年度補てん可能額(F)	14,815	15,077	15,183	14,080	12,770
当年度末財源残 (E+F)	9,172	9,618	8,717	7,171	5,313

## (5) 企業債残高の状況

(単位：百万円 消費税抜き)

	平成17年度 (決算)	平成18年度 (決算見込み)	平成19年度	平成20年度	平成21年度
企業債残高	58,065	56,792	55,879	55,121	53,949